

# UD絵本 親子で製作

市立佐久間図書館

## 仕組み工夫し物語表現

浜松市天竜区佐久間町の市立佐久間図書館は19日、「えほんをつくらう!ユニバーサルデザイン(UD)えほ

んワークショップ」を同館で開催した。地元や市街地の親子ら7人が、視覚だけでなく触覚、聴覚などでも楽しめる絵本を作った。

静岡文化芸術大の林



完成した絵本の工夫点を発表する参加者ら

|| 浜松市天竜区の佐久間図書館

左和子教授と学生から指導を受けた。登場人物や物、場所、時間の変化などを意識しながら数ページ分の物語を考え、画用紙上に表現した。ビーズやストローク、フェルトなど身近な物を活用し、触って動かせたり、好きな道具を付け替えたりできるなど工夫を施した。絵本が完成すると、工夫点を発表し合った。佐久間小2年の坂井鼓さん(8)は、ボタンやリボンを貼り付けた画用紙にモールで作った「枠」を当てるなど、猫の顔が浮かび上がるユニークな絵本を紹介した。